

# 「国産・生パスタ」の製造による新市場の開拓

## 世界初の新品種・早生デュラム小麦を使った

## 近江屋米店—大地堂

■ 事業分野類型	一般型
■ ものづくり分野	新規顧客層への展開／商圈の拡大 独自性・独創性の発揮／顧客満足度の向上

### 事業の概要

龍谷大学文学部 丹野研一准教授(考古植物学)に協力して育種した、世界初の新品種・早生デュラム小麦の栽培・販売権を保有しています。日本の気候での栽培を可能にした新品種のパスタ用デュラム小麦の2次加工(小麦粉製粉)、3次加工(生パスタ麺生産)により、国産生パスタの新たな市場を開拓し、豊かな食文化の創造と食料自給率の向上に貢献します。

本事業では、そのために必要な製粉機などを導入し、小麦粉、生パスタ麺の生産環境を整えました。

### 事業の内容 — 取り組みの経緯・実施内容 —

2006年頃、近江屋米店—大地堂の廣瀬代表は、日本で初めて古代種ディンケル小麦の種子をドイツから輸入し、国内商業栽培に成功し、純国産ドイツパン、ドイツ菓子の製造販売を手掛けるとともに、全国のパン屋、カフェ、レストラン向けに、ディンケル小麦の全粒粉を販売し、本物志向の小麦ユーザーネットワークを形成しました。

同時期に、当時山口大学農学部助教の丹野研一氏(現龍谷大学文学部准教授)と出会い、パスタ用デュラム小麦の育種に取組み始めました。デュラム小麦は、パスタ用小麦として、世界で広く生産、流通していますが、乾燥・高温気候を好むため、日本では栽培されていませんでした。日本で栽培するためには、梅雨入り前に収穫できる早生品種を作出する必要がありました。早生形質のデュラム小麦を選抜して、累代栽培を繰り返し、10年以上をかけて形質が安定した新品種の作出に成功し、品種登録を行いました。その栽培・販売権を大地堂が保有しています。

この世界初の新品種：早生デュラム小麦を用いて、パスタ用小麦粉を製粉し、生パスタ麺を生産して、純国産生パスタの新市場を開拓します。そのために、カラー色彩選別機、



カラー色彩選別機



製粉機

事業者名

近江屋米店-大地堂

代表者名

代表 廣瀬 敬一郎

所在地

〒529-1609  
滋賀県蒲生郡日野町中道1丁目52番地  
クリスタル華 102号室

設立年月日

平成12年3月1日

連絡先

T E L : 0748-52-5695  
F A X : 0748-52-5668

企業HP

<http://www.daichidou.com>

従業員数

1人

業種

農業

担当者

代表 廣瀬 敬一郎

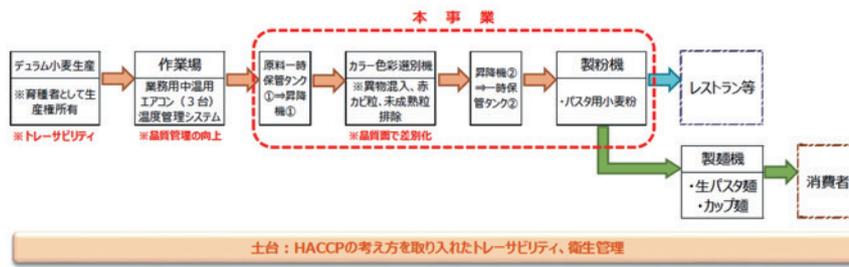
T E L : 090-4764-9773  
Email : info@daichidou.com

小型昇降機2台、一時保管タンク2台、製粉機を導入しました。

- ① 自ら生産した国産早生デュラム小麦から、導入した「カラー色彩選別機」を用いて、赤カビ粒や未成熟粒を確実に除去し、品質の向上、差別化と、歩留り率アップによる生産性向上を図ります。
- ② 高精度で定評のある「製粉機」の導入により、顧客の好みに合わせたブレンド小麦(胚芽や外皮の割合)を安定して提供できます。
- ③ 生産した小麦を「一時保管タンク①」に保管し、「小型昇降機①」で「カラー色彩選別機」に送り、「カラー色彩選別機」から「小型昇降機②」により「一時保管タンク②」で一旦保管し、生産計画に合わせて「製粉機」に投入する一連のラインの中核工程を構築しました。「小型昇降機」は、風で異物を飛ばす機能も有し、品質面に与える高い効果も期待できます。

取り組みの成果

下図に示すように、早生デュラム小麦をパスタ用小麦粉に加工し、さらに生パスタ麺に加工する一連のラインのうちの中核工程を構築することができました。



これにより、生産した新品種・早生デュラム小麦からパスタ用小麦粉、生パスタ麺を試作し、高級志向のイタリアンレストランなどに向けて、試験販売を開始できます。

今後の展望

品種登録した早生デュラム小麦は古代品種を親として育種した野生的な品種であり、安定した収穫を得るためには栽培方法のさらなる改良が必要です。同様に栽培の難しい古代小麦ディンケルの栽培経験が活かされています。

また、より生産性の高い新品種の早生デュラム小麦の育種を進めています。より生産性の高い新品種と栽培方法により、安定した早生デュラム小麦の生産体制を確立します。

これに並行して、本事業で構築した一連のラインにより、早生デュラム小麦からパスタ用小麦粉、生パスタ麺を試作し、高級志向のイタリアンレストランなどに向けて、試験販売を行います。ディンケル小麦の全粒粉販売を通じて構築した本物志向の小麦ユーザーネットワークを活用し、ユーザーの好みに合わせたブレンド小麦(胚芽や外皮の割合)の試験提供を行い、少しずつ新市場を開拓していきます。

